

平成21年度アジア太平洋提携プロジェクト(バングラデシュ)派遣 派遣員募集要項



1994年にモロッコで開催された「マラケシュ国際シンポジウム」におけるバングラデシュ連盟から日本連盟への働きかけに端を発したアジア太平洋提携プロジェクト(バングラデシュ)派遣は、2回にわたる事前調査派遣、ORT(経口補水療法)啓蒙を目的とした第一次派遣(5ヶ年)、保健衛生と環境保全をプロジェクトの柱とした第二次派遣(5ヶ年)の計10年間の活動を終えた。この間に、バングラデシュにおける乳幼児死亡率・母親死亡率の有意な減少という直接的成果と、両国スカウト連盟およびローバースカウトのプロジェクト能力向上と友情促進という大きな成果を上げた。

この成果を踏まえるとともに、新たな目標として新生児と母体の栄養補給という緊急かつ深刻な問題を取り上げ、バングラデシュ連盟から新たな5ヶ年提携プロジェクトの提案があり、日本連盟はこれを受け、両国ローバースカウトによる第三次5ヶ年提携プロジェクトの第3回目として当派遣を実施する。

参加者はイスラームと南アジアの異文化を体験するとともに、保健衛生、環境保全、母子栄養摂取、国際理解、国際協力そしてスカウト運動への一層の理解を深めることができる。

名称 平成21年度アジア太平洋提携プロジェクト(バングラデシュ)派遣
期間 平成22年2月22日(月)～3月8日(月)15日間(予定)
場所 バングラデシュ人民共和国(プロジェクト地未定)
人員 ローバースカウト18人・指導者2人 合計20人を標準編制とするが、状況により多少の変更がある。



経費 (1) 参加者負担金は1人あたり約19万円の見込みである。

これは、往復航空運賃約12万円、現地滞在費・プロジェクト経費約5万円、準備訓練・事後集会経費約1万5千円、国内旅行手配および海外旅行傷害保険約1万円、査証手配・手配諸経費・支給品代金約2万円、消耗品等派遣団装備約1万5千円に、日本連盟予算を加えた見込み金額である。最終的な参加者負担金は、派遣人員と往復航空運賃が確定する11月頃に決められる。

(2) 上記予算は、派遣期間中の小遣い等は含まない。

(3) 本派遣は、日本連盟海外派遣貸付金(30万円以内・無利子・5年以内返済)対象事業である。派遣員内定者は必要に応じて申請することができる。貸付金は審査のうえ決定される。

日程 (予定-今後のバングラデシュ連盟との調整により期間が前後することがある)
平成22年2月21日(日) 夕方、ボーイスカウト会館に集合し2泊3日間の準備訓練を行う
2月22日(月) 準備訓練終了後、結団式、壮行夕食会を行う
2月23日(火) 成田国際空港から空路クアラルンプール経由ダッカに向かう
2月24日(水) 各種打合せ、準備
2月25日(木) 各種打合せ後プロジェクト実施地に移動
2月26日(金)
| バングラデシュのローバースカウトと提携プロジェクトを実施
3月5日(金) プロジェクト実施地よりダッカに移動
3月6日(土) ダッカにて評価反省および打合せ会を行う
3月7日(日) ダッカよりクアラルンプール経由成田国際空港へ向かう
到着後、ボーイスカウト会館へ移動(宿泊)事後集会・解団式
3月8日(月) 解散

* 派遣員内定後毎月一回の事前集会、派遣後の複数回の事後集会が予定されている

応募資格：応募者は、次の各項を満たしていること

<ローバースカウト>

- (1) 平成21年度にローバースカウト登録をしている者、または同年代で指導者登録をしている者
- (2) スカウト運動に積極的に参加しており、帰国後も積極的に参加する者
- (3) 日常会話程度以上の英語力、もしくはベンガル語会話力があり、国際協力に関心がある者
- (4) 心身ともに健康で、海外派遣に耐える体力があり、日本のローバースカウトを代表する派遣団員として行動のとれる者

<指導者>

- (1) 派遣実施日において、満25歳以上の指導者
- (2) 平成19年度から継続して登録があり、応募時点でウッドバッジ研修所（ローバースカウト課程が望ましい）を修了している者
- (3) 心身ともに健康で、長期の海外派遣に耐える体力があり、かつ日常会話程度以上の英語力、もしくはベンガル語会話力がある者
- (4) 派遣指導者としての役務を果たし、またローバースカウトを支援するに適した経験と資質を有し、さらに国際協力に関心のある者

参加申し込み

- (1) 上記の資格を有する参加希望者は必要書類を整え、所属団・地区の推薦（ローバースカウトは所属隊の推薦も必要）をうけ、所属県連盟の指定する期日までに所属県連盟に申し込む。
- (2) 県連盟は、申込者を選考し、適格者を日本連盟に推薦する。
2人以上を推薦するときは、県連盟推薦順位をつける。
- (3) 県連盟から日本連盟への申し込みは、次の必要書類を添え平成21年10月15日（木）までに行う。

提出書類

- (1) 海外派遣参加申込書(スカウト・指導者別の所定の用紙) 1通
- (2) 海外派遣参加健康調査書(所定の用紙) 1通

日本連盟の選考

日本連盟は派遣員の選考を行う。

申込期日及びその他の期日(予定)

県連盟への申し込み	県連盟の定める日 平成21年 月 日 ()
<u>日本連盟への推薦</u>	<u>平成21年10月15日(木)</u>
<u>派遣員の選考</u>	<u>平成21年10月25日(日)</u>
派遣員の内定	平成21年11月上旬



派遣事前準備と帰国後の評価・改善活動

派遣員として内定後、派遣団クルーが実施する事前集会（訓練と準備）、出発直前準備訓練に全期間参加しようと努力することで、直前準備訓練終了後の結団式において、日本連盟より派遣員として任命される。また、帰国後「派遣報告書」を作成し、派遣の総括・評価を行うとともに、今後の派遣事業に対する改善材料を提供する活動に積極的に参画することで、自己のローバーリングにおけるP（計画）、D（実施）、C（評価）、A（改善）のプログラム・プロセスを完成させる。

その他

- (1) 女子スカウトの参加
女子スカウトの参加については、女性指導者（ウッドバッジ研修所修了者）の引率が必要となる。
- (2) 派遣の延期または中止
以下のような場合には、当該派遣が延期または中止されることがある。
 - ・ 外務省による、渡航先国または地域への渡航延期勧告または危険情報の発出等
 - ・ 同、SARS・新型(H1N1型)インフルエンザ等の感染症情報の発出等
 - ・ その他、派遣実施に支障があると判断された場合

以上